

# 安全データシート

作成日: 2020年11月1日

## ①化学品及び会社情報

化学品の名称 剥離剤CMR-K19-L

供給者の会社名称, 住所及び電話番号  
名称:株式会社SCM  
住所:〒738-0021 広島県廿日市市木材港北5-26  
電話番号:0829-30-8325  
FAX番号:0829-30-8326  
緊急連絡先電話番号:0829-31-4801

## ②危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : なし

GHS分類

物理化学的危険性

- 爆発物 : 分類対象外
- 可燃性又は引火性ガス : 分類対象外
- エアゾール : 分類対象外
- 支燃性又は酸化性ガス : 分類対象外
- 高压ガス : 分類対象外
- 引火性液体 : 区分外
- 可燃性固体 : 分類対象外
- 自己反応性化学品 : 分類対象外
- 自然発火性液体 : 区分外
- 自然発火性固体 : 分類対象外
- 自己発熱性化学品 : 区分外
- 水反応可燃性化学品 : 分類対象外
- 酸化性液体 : 区分外
- 酸化性固体 : 分類対象外
- 有機過酸化物 : 区分外
- 金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

- 急性毒性(経口) : 分類できない
- 急性毒性(経皮) : 分類できない
- 急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外
- 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
- 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない
- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない
- 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 : 分類できない
- 呼吸器感作性 : 分類できない
- 皮膚感作性 : 分類できない
- 生殖細胞変異原性 : 分類できない
- 発がん性 : 分類できない
- 生殖毒性 : 分類できない
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
- 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

#### 環境に対する有害性

- 水生環境有害性(急性) : 分類できない
- 水生環境有害性(長期間) : 分類できない
- オゾン層への有害性 : 分類できない

#### GHSラベル要素

- 絵表示 : なし
- 注意喚起語 : なし
- 危険有害性情報 : なし

#### 注意書き

- 【予防策】  
取り扱い後はよく手を洗うこと。

#### 【対応】

- 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

#### 【保管】

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

#### 【廃棄】

- 内容物、容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

### ③組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	CAS No.	化審法 No. / 安衛法 No.	備考
ポリカルボン酸系化合物	29-34%	非公開	既存 / 既存	なし
水	66-71%	7732-18-5	-	

その他の成分は、営業秘密により非公開。

### ④応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら石鹼を使ってよく洗浄する。外観に変化が見られたり腫れ痛み等の異常が感じられる場合は医師の診断を受けること。
- 目に入った場合 : 清浄な水でよく眼を洗浄する。腫れ痛み等の異常が感じられる場合は、眼科医の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、直ちに医療処理を受ける手配をする。無理に吐かせない。

### ⑤火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 消火活動は風上から行う。状況に応じて呼吸保護具を着用する。周辺の装置等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。  
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置を行う。関係者以外は安全な場所に待避させる。
- 消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## ⑥漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法

二次災害の防止策

- ： 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用する。
- ： 環境への放出を避けること。漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑  
： 巾等でよく拭き取る。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導い  
てからドラム等に回収する。

- ： 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
- ： 火花を発生しない安全な用具を使用する。

## ⑦取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

注意事項

安全取扱い注意事項

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

- 作業場の換気を十分に行う。
- ： 取り扱いの都度、容器を密閉する。
  - ： 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

- ： みだりに蒸気を発生させないようにする。
- ： 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し粘膜に触れたり、眼に  
入らないようにする。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

- ： 直射日光の当たらない通気の良い場所で容器を密閉し保管する。
- ： 火気、熱源より遠ざける。

鉄等の一部の金属を錆びさせる可能性があるため注意する。

- ： 製品使用容器に準ずる。

## ⑧ばく露防止及び保護措置

設備対策

管理濃度

許容濃度

呼吸器の保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

適切な安全対策

- ： 蒸気、ヒュームやミストが発生する場合は局所排気装置を設置する。
- ： 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

- ： 設定されていない
- ： 日本産業衛生学会(2014年度版) 設定されていない
- ： ACGIH(2014年度版) 設定されていない

- ： 通常必要としない(状況に応じ有機溶剤用防毒マスク)

- ： 保護手袋

- ： 側板付き普通眼鏡型保護眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡

- ： 静電気防止加工長袖作業衣

- ： 情報無し

## ⑨物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	: 液体
形状	: 液体
色	: 褐色
臭い	: 特異臭気
臭いのしきい(閾)値	: データ無し
pH(測定条件)	: 6-10 (1%水溶液)
融点・凝固点	: データ無し
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データ無し
引火点(測定方法)	: 測定不可 (クリーブランド開放式:製品中の水分が100°C付近から沸騰して泡を吹くため、測定不可)
蒸発速度	: データ無し
燃焼性(固体、気体)	: データ無し
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: 上限:データ無し 下限:データ無し
蒸気圧	: データ無し
蒸気密度	: データ無し
比重(相対密度)	: 1.12-1.16 (20°C)
溶解度	: 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	: データ無し
自然発火温度	: データ無し
分解温度	: データ無し
粘度(粘性率)	: データ無し

## ⑩安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常取り扱いにおいては、化学的に安定。
反応性	: 通常取り扱いにおいては、化学的に安定。
避けるべき条件	: 強酸、強塩基、酸化性物質との接触
避けるべき材料	: 現在の所、所見無し
混触危険物質	: 酸化性物質
危険有害な分解生成物 (一酸化炭素、二酸化炭素、水以外)	: 現在の所、所見なし

## ⑪有害性情報

急性毒性(経口)	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
急性毒性(経皮)	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
急性毒性(吸入:ガス)	： GHSの定義による液体であるため分類対象外とした。
急性毒性(吸入:蒸気)	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
呼吸器感作性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
皮膚感作性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
生殖細胞変異原性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
発がん性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
IARC	： 設定されていない。
NTP	： 設定されていない。
日本産業衛生学会	： 設定されていない。
生殖毒性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。
吸引性呼吸器有害性	： (製品のデータ) データなし。分類できない。 ： (成分のデータ) 分類できない。

## ⑫環境影響情報

- 水生環境有害性(急性) : (製品のデータ) データなし。分類できない。  
: (成分のデータ) 分類できない。
- 水生環境有害性(長期間) : (製品のデータ) データなし。分類できない。  
: (成分のデータ) 分類できない。
- 残留性/分解性 : 情報なし
- 生体蓄積性 : 情報なし
- 土壌中の移動性 : 情報なし
- オゾン層への有害性 : データなし。なお、モントリオール議定書のリストに記載されていない。
- その他 : 情報なし

## ⑬廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。  
: 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
- 汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や、処分業者に廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

## ⑭輸送上の注意

- 国内規則 : 陸上輸送:消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。  
: 海上輸送:船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
: 航空輸送:航空法に定められている運送方法に従う。
- 国際規則 : 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
- 国連分類・国連番号 : 該当なし
- 緊急時応急措置指針番号 : 該当なし
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : ”漏出時の処置:漏出時の措置”及び”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。運搬に際しては容器に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## ⑮適用法令

- 化審法  
(特定化学物質、監視化学物質) : 該当しない
- 消防法 : 該当しない
- 安衛法 : 該当しない
- 毒劇法 : 該当しない
- 船舶安全法 : 該当しない
- 航空法 : 該当しない
- 火薬類取締法 : 該当しない
- 高圧ガス保安法 : 該当しない
- 化学物質管理促進法 : 該当しない
- 海洋汚染防止法 : 該当しない

## ⑩その他の情報

### 引用文献

- JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学品の分類方法
- GHS関係各省による分類結果 化学物質総合情報提供システム(CRIP) (独)製品評価技術基盤機構(NITE)ホームページ
- (社)日本化学工業協会 緊急時応急措置指針(改定第4版)容器イエローカード(ラベル方式)への適用
- (社)日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシートの作成指針 2012年6月
- 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス (平成25年改訂版 (Ver 1,1))

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作製しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。